



名古屋市の上下水道事業に関わる人に聞いてきました！ ～水質管理課で働く職員へのインタビュー～



■水質検査について教えてください。

前月号で紹介した浄水場では水道水の水質を24時間監視していますが、私たちの水質管理課では、定期的に水源の木曽川の水、浄水場、市内各地のじゃ口から採取した水道水についてより詳しく分析しています。分析は、味や臭いのような感覚による方法から、マイクロ、ナノレベルまで測定できる精密な機器を用いる方法など様々です。法令で定められた51の項目に加え、放射性物質のような水質に悪影響を与える項目についても分析します。



精密検査の様子

■具体的な仕事内容について教えてください。

市内各地の水道水や木曽三川の最上流の地点の水を採水し、水質分析を行っています。特にダム湖の水は、化学分析だけでなく生物調査も行うなど、総合的に監視しています。平成26年に御嶽山が噴火した時は、現地調査を実施し、水道水への影響がないことを確認しました。



微生物調査の様子

■苦労話や役得を聞かせてください。

非常に多くの項目を、速やかに分析する必要があるため、分析機器の稼働時間などを考えて、計画的にスケジュールを組むよう心掛けています。また、水道水の分析は、温度や空気中のわずかなチリなどにより影響を受ける場合があるので、細心の

注意を払っています。

ボートに乗ってダム湖で採水することは、中々経験できる仕事ではないので、役得だと感じています。

■仕事でのこだわりや自負していることを教えてください。

水源からじゃ口まで、法令で定められた項目だけでなく、幅広く分析を行い、水質の監視をしています。お客さまに「安心・安全でおいしい水道水」を提供する仕事の一部を担っているため、とても責任のある仕事をさせていただいていると感じています。

■市民のみなさまへ伝えたいことはありますか？

浄水場などでの日々の監視に加え、定期的に多岐にわたる詳細な分析を行うことによって、水道水の安全を確認していますので、安心して水道水をご利用していただきたいと思います。



微量の金属類を分析する機器